

**令和6年度 第2回東久留米市安全・安心まちづくり推進協議会
会議録（要旨）**

1 **会議名** 令和6年度 第2回東久留米市安全・安心まちづくり推進協議会

2 **日時** 令和6年10月29日（火） 午後2時10分～午後3時

3 **場所** 東久留米市役所7階 703会議室

4 **出席者（敬称略）**

(1) 委員

根岸 公夫（会長）、酒井 宗作、中谷 光貴、渡部 久美子、
大島 克江、村上 貢（田無警察署）、古見 美子、齋藤 正人、堀野めぐみ、
松村 京美、栗田 仁美

(2) 事務局

小泉 勝巳（環境安全部長）市澤 信明（防災防犯課長）、
早瀬 裕隆（防災防犯担当主査）、矢野 完太郎（防災防犯担当主事）、
逸見 誠一郎（会計年度任用職員）

(3) 欠席者

當麻 繁、村野 憲也

5 **会議次第**

(1) 環境安全部長挨拶

(2) 会長挨拶

(3) 事務局紹介

(4) 配布資料の確認

- ① 東久留米市安全・安心まちづくり条例
- ② 東久留米市安全・安心まちづくり推進協議会規則
- ③ 東久留米市犯罪発生状況（1月1日～9月30日）
- ④ 侵入被害にあわないために（田無警察署）

(5) 職務代理選任（中谷委員）

(6) 管内の犯罪発生状況について（田無警察署、村上委員）

(7) その他、来年の講演会等について（事務局）

6 **配布資料**

(1) 令和6年度第1回東久留米市安全・安心まちづくり推進協議会次第

(2) 席次表

- (3) 東久留米市安全・安心まちづくり推進協議会委員名簿
- (4) 東久留米市安全・安心まちづくり条例
- (5) 東久留米市安全・安心まちづくり推進協議会規則
- (6) 東久留米市犯罪発生状況（1月1日～9月30日）
- (7) 侵入被害にあわないために（田無警察署）

7 議題の発言要旨

- (1) 次第（6）管内の犯罪発生状況について

【村上委員】

（配布資料、犯罪発生状況を見ながら講話）

犯罪状況についてお話しします。都内における刑法犯認知件数の総数については、平成15年以降減少していたところ、コロナ明けの令和4年ころから増加し、昨年（令和5年）は、都内における刑法犯認知件数の総数については約8万9000件の（前年比プラス約1万件）と決して体感治安が高いとは言えない状況です。お手元の資料の件数は9月までのもので、これを見ても増加しているのが判ると思います。

また、田無警察署管内においても東久留米市、西東京市の両市を見ても、刑法犯認知件数の総数は昨年、約1500件（前年比プラス約150件）となりこの増加の原因になっていますが主に自転車盗や万引きその他、傷害・暴行等の粗暴犯等の増加が原因と考えられます。

田無警察署管内においても増加傾向にともない警察署独自で色々な抑止対策を行っておりますが、やはり一番は警察だけでなく「官民一体となった諸対策と皆様の警察業務の理解」だと思っておりますので今後も引き続きご協力をお願い致します。

それでは、田無警察署管内における防犯上の問題点についてお話させていただきます。

1点目は、特殊詐欺についてお話しします。

都内において昨年は、約2900件被害額約81億となっており、一昨年に比べると約300件減少するも被害額は約13億3700万円の増加となりました。また、今年については8月31日現在で、2088件被害額約70億と昨年を上回るペースで推移しており依然と油断の許せない状況が続いています。

田無警察署管内での昨年1年間、特殊詐欺の発生については、

- ・東久留米市では、12件 被害額 約1700万円
- ・西東京市では、54件 被害額 約1億2500万円

の発生があり、両市を合わせると認知件数66件、被害額約1億4200万円の被害がありました。

この数字は、警視庁管内に島部を含め102警察署がありますが認識していただくため報告させていただくと102警察署中、第4位で令和4年は第2位などワースト上位に位置していましたが、今年（令和6年）は8月末現在で54位、昨年同期比でマ

イナス25件と減少しています、また管内居住者に対する詐欺電話は、把握しているものが608件（東久留米市245件、西東京市363件）で決して安心できない状況なのです。

更に9月下旬にお隣の練馬区内、国分寺市内そして所沢市内で強盗事件が連続発生しており皆さんもニュース等で知っていると思いますが、所沢では高齢夫婦を粘着テープで縛り上げ、刃物で切りつけて現金を奪ったというもので、この事件で皆さんが思い出すのは昨年1月に狛江市で発生した高齢女性に暴行を加え殺害した事件だと思います。この事件の指示役がルフィーと名乗る者で、実行役は、いずれも闇バイトで知り合った者たちの犯行でした。

決して遠い場所での話ではなく、ごく身近で発生しています。今後も引き続き、自宅の固定電話に架かってきた電話に出ることなく常に留守番電話設定で対応することを市民にお願いするとともに、もし「変な電話があった。家にタンス預金があることを話してしまった。付近に不審な男が数人いる。」など何でも結構です。早めに警察に相談して頂きたいと思います。

2点目は刑法犯が増えた理由の一つである自転車盗についてお話します。

自転車盗の発生は、昨年

- ・東久留米市で約250件
- ・西東京市で約400件

の発生があり両市併せると650件で、一昨年比で既に100件弱の増加となりました。この被害の内400件以上が無施錠で、施錠をしていれば防げる犯罪だったことが判ると思います。

今年については、本年6月末現在で

- ・東久留米市で94件
- ・西東京市で208件

の発生があり、両市併せると302件で昨年同期比、既にプラス25件の増加となり、この被害の内約6割が無施錠の被害となっています。

一人一人が防犯意識を強く持って頂き「すぐだから」という理由で無施錠のまま自転車から離れないよう心がけてください。

3点目は、悪質リフォームについてお話します。

皆さんも経験があると思いますが、いきなり「近くで屋根の修理をしていたら、お宅の屋根が壊れているので確認させてください。」などと言って訪問してくると思います。確認させるため屋根に上がらせると、壊れていない場所を壊し、その写真を撮って相手に見せることで信用させ、高額な料金を請求します。

警察では、そうした悪質リフォーム業者を撃退するため、インターホーンに貼るサイズのもの「屋根の点検を始め、飛び込み営業はお断り悪質業者は録音して110番通報します。」と記載されたステッカーが若干ありますので連絡を頂きたいと思います。

最後にお手元の資料をご覧ください。今、被害に遭っている強盗事件の殆どが、バール等を使って大胆に窓ガラスを壊して短時間で侵入していることが、ニュース等で知っていると思います。侵入に関しては「5分かかると侵入者の約7割はあきらめ、10分以上かかると殆どの侵入者はあきらめる」と言います。

是非防犯対策として、

- ・在宅中でも必ずドアや窓を施錠する
- ・玄関ドア、サッシ等に補助錠を掛ける
- ・窓ガラスに防犯フィルムを貼る
- ・カメラ付きドアホーン、センサー付きライト、防犯カメラ等を設置する

その他

- ・自宅に高額現金を保管しないこと
- ・現金保有状況を他人に話さない

など心掛けて頂きたいと思います。

以上が、田無警察署管内において発生した主な犯罪状況についてお話をしてきましたが、皆さんのお力も借りながら、引き続き、安全・安心な街に向けて、各種取り組みを推進して参りますのでどうかご協力お願い致します。

(2) 次第(7) その他、来年の講演会等について(事務局)

- ・来年3月に行われる予定の講演会について 等